



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	15,162	3.6	779	46.2	857	36.1	584	39.3
27年3月期第3四半期	14,642	0.4	533	△24.9	630	△23.9	419	△23.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 563百万円 (△19.4%) 27年3月期第3四半期 698百万円 (△27.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	65.81	-
27年3月期第3四半期	47.25	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	23,563	12,478	51.3	1,361.50
27年3月期	22,283	12,025	52.2	1,310.77

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 12,090百万円 27年3月期 11,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	6.00	-	6.00	12.00
28年3月期	-	6.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	8.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	5.8	1,000	22.6	1,070	14.8	700	6.2	78.81

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	8,900,000株	27年3月期	8,900,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	19,780株	27年3月期	17,886株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	8,881,326株	27年3月期3Q	8,883,168株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)におけるわが国経済は、4～6月期の実質GDPはマイナス成長でしたが、7～9月期はプラス成長に転じ、全体としては緩やかな回復基調が継続しました。しかし、企業収益が好調に推移する一方で、設備投資や個人消費の回復は力強さに欠け、強弱入り混じった状況でした。

企業部門は円安効果と原油安に伴うコスト低減によって利益の改善傾向が続きましたが、それが製造業の生産増加には必ずしも結びついていません。次第に中国・新興国の景気減速感が強まり、資本財を中心に中国・アジア向けの輸出は伸び悩みました。こうした外需環境の不透明感もあって、設備投資には慎重な姿勢がやや強まりました。

家計部門では、雇用環境は良好ながら、実質雇用者報酬は伸び悩み、円安による食料価格の上昇などが消費者マインドに影響して、消費の回復は緩慢なままでした。

当社グループの主要事業は国内の生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、フィルム製品の出荷数量は減少しましたが、重包装袋、コンテナは数量を増やしました。海外子会社は引き続き好調で、販売数量を伸ばしました。売上高は15,162百万円で、前年同期に比して519百万円の増収となりました。損益については、全体に原価を低減させて利益を伸ばし、営業利益779百万円(前年同期比246百万円の増益)、経常利益857百万円(同227百万円の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益584百万円(同164百万円の増益)となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第3四半期連結累計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期比+0.3%とわずかながら増加しました。ただし、前年は第1四半期連結会計期間に消費増税前駆け込み需要の反動による落ち込みがあったことを踏まえると、実質的には減少でした。合成樹脂、製粉、その他食品等の用途が増加、セメント、砂糖・甘味、飼料等の用途が減少しました。

当社の売上数量は前年同期比+4.3%で、業界全体よりも大きく増加しました。合成樹脂、化学薬品、その他食品等の用途が増加、一方で、砂糖・甘味用途は減少しました。

子会社の九州紙工(株)の売上数量は、九州地区の作況が芳しくなかった米麦袋は減少しましたが、積極的な営業で一般袋の新規受注を増やし、前年同期比+3.9%でした。山陰製袋工業(株)の当第3四半期連結累計期間(1～9月)は、同じく作況が原因で米麦袋が期待した数量に達せず、また養殖魚飼料用途等が不調だったことで、前年同期比で2.2%減少しました。タイ昭和パックス(株)の当第3四半期連結累計期間(1～9月)は、タイの国内経済成長率の鈍化はありましたが、前年後半以来の好調を維持、底貼袋の出荷も増やして、売上数量は前年同期比で10.8%の伸びとなりました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は9,816百万円で、前年同期に対し4.7%の増収となりました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期比で産業用は前年並み、前年は4～6月期に消費増税後の反動で減少した農業用は、前年同期との比較では若干増加しました。主原材料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂の価格は、原油安を受けて、値下がり傾向が続きました。

当社の売上数量は、産業用を大きく減らし、農業用も微減で、量的には不振が続きました。一方で連結子会社(株)ネスコは売上数量を若干増やしました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は2,611百万円で、前年同期に対し5.5%の減収となりました。

③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、国内生産品では、除染用途が海外生産品に移行して大きく減少しましたが、窯業土石品、飼料用途が増加しました。海外からの輸入数量は前年同期からやや減少しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、自社製品、輸入販売品いずれも増加し、全体では前年同期比+12.9%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は減少しました。液体輸送用では、1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」は順調に数量を増やし、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」も前年の不振から復活しつつあります。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は1,477百万円で、前年同期に対し10.9%の増収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産の内容に大きな変動はありませんが、契約内容に若干の変動があり、当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期に対して4.9%減の191百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末総資産は23,563百万円で、前連結会計年度末に比べて1,280百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金1,141百万円、電子記録債権112百万円および投資有価証券153百万円です。

(負債)

負債合計は11,085百万円で、前連結会計年度末に比べて828百万円増加しました。主な増加要因は電子記録債務1,012百万円、営業外電子記録債務240百万円です。主な減少要因は短期借入金366百万円です。

(純資産)

純資産合計は12,478百万円で、前連結会計年度末に比べて452百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益584百万円、剰余金の配当支払106百万円および為替換算調整勘定の減少150百万円等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収増益の結果となりました。我が国経済は緩やかな回復基調ではありますが、力強さに欠けています。また中国・新興国の景気減速感が強まるなど外需の不透明感もありますが、引き続きグループ全体で売上と利益の拡大に注力してまいります。

当連結会計年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、当初の予想(平成27年5月13日発表)を変更せず、連結売上高21,000百万円、連結経常利益1,070百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込みます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,966,091	5,107,848
受取手形及び売掛金	6,064,473	6,117,462
電子記録債権	60,737	173,075
商品及び製品	1,251,116	1,257,755
仕掛品	100,522	107,297
原材料及び貯蔵品	1,112,590	1,065,485
繰延税金資産	145,574	144,612
その他	307,981	245,921
貸倒引当金	△15,151	△13,756
流動資産合計	12,993,935	14,205,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,266,327	7,252,436
減価償却累計額	△5,004,385	△5,057,348
建物及び構築物(純額)	2,261,941	2,195,087
機械装置及び運搬具	9,202,671	9,168,473
減価償却累計額	△7,565,282	△7,556,185
機械装置及び運搬具(純額)	1,637,389	1,612,287
土地	895,260	875,049
リース資産	39,592	32,230
減価償却累計額	△22,402	△17,962
リース資産(純額)	17,190	14,268
建設仮勘定	42,264	87,103
その他	721,375	739,457
減価償却累計額	△632,275	△643,312
その他(純額)	89,100	96,145
有形固定資産合計	4,943,146	4,879,942
無形固定資産		
ソフトウェア	83,303	63,370
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	92,533	72,600
投資その他の資産		
投資有価証券	3,655,656	3,809,322
退職給付に係る資産	425,569	458,114
繰延税金資産	43,186	43,829
その他	138,357	104,827
貸倒引当金	△8,996	△10,455
投資その他の資産合計	4,253,774	4,405,637
固定資産合計	9,289,454	9,358,181
資産合計	22,283,390	23,563,882

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,789,304	3,766,994
電子記録債務	634,654	1,646,724
短期借入金	3,051,960	2,685,700
リース債務	4,924	4,834
未払法人税等	134,688	157,759
繰延税金負債	4,987	259
賞与引当金	295,963	201,281
役員賞与引当金	22,226	15,300
設備関係支払手形	9,649	9,794
営業外電子記録債務	4,825	244,980
その他	702,158	789,154
流動負債合計	8,655,343	9,522,784
固定負債		
長期借入金	159,000	147,000
リース債務	9,669	6,043
役員退職慰労引当金	170,671	92,719
環境対策引当金	14,005	14,005
繰延税金負債	770,314	833,766
退職給付に係る負債	285,165	278,416
資産除去債務	6,987	6,995
長期預り保証金	186,265	183,763
固定負債合計	1,602,078	1,562,710
負債合計	10,257,421	11,085,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	9,426,037	9,903,978
自己株式	△8,316	△9,357
株主資本合計	10,348,067	10,824,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,182,417	1,278,326
為替換算調整勘定	254,707	104,628
退職給付に係る調整累計額	△142,811	△117,533
その他の包括利益累計額合計	1,294,313	1,265,421
非支配株主持分	383,588	387,998
純資産合計	12,025,968	12,478,387
負債純資産合計	22,283,390	23,563,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	14,642,463	15,162,329
売上原価	12,211,999	12,473,271
売上総利益	2,430,463	2,689,057
販売費及び一般管理費	1,897,387	1,909,965
営業利益	533,076	779,091
営業外収益		
受取利息	3,099	3,895
受取配当金	75,410	82,144
負ののれん償却額	42,747	-
為替差益	4,292	7,299
その他	16,127	11,099
営業外収益合計	141,677	104,438
営業外費用		
支払利息	40,029	25,154
その他	4,414	570
営業外費用合計	44,443	25,724
経常利益	630,310	857,805
特別利益		
固定資産売却益	357	4,458
特別利益合計	357	4,458
特別損失		
固定資産除却損	1,638	1,930
特別損失合計	1,638	1,930
税金等調整前四半期純利益	629,029	860,333
法人税、住民税及び事業税	188,332	251,194
法人税等調整額	3,189	795
法人税等合計	191,522	251,990
四半期純利益	437,506	608,342
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,815	23,822
親会社株主に帰属する四半期純利益	419,691	584,520

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	437,506	608,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170,748	96,167
為替換算調整勘定	67,100	△166,753
退職給付に係る調整額	23,130	25,278
その他の包括利益合計	260,979	△45,308
四半期包括利益	698,486	563,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	673,441	555,628
非支配株主に係る四半期包括利益	25,044	7,405

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,374,767	2,763,691	1,331,938	200,918	13,671,316	971,146	14,642,463
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,374,767	2,763,691	1,331,938	200,918	13,671,316	971,146	14,642,463
セグメント利益又は損失(△)	618,942	35,524	△27,497	118,314	745,284	80,999	826,283

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	745,284
「その他」の区分の利益	80,999
全社費用(注)	△293,207
四半期連結損益計算書の営業利益	533,076

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,816,978	2,611,316	1,477,107	191,154	14,096,556	1,065,773	15,162,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,816,978	2,611,316	1,477,107	191,154	14,096,556	1,065,773	15,162,329
セグメント利益又は損失(△)	780,760	108,451	△23,589	112,689	978,312	84,248	1,062,560

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	978,312
「その他」の区分の利益	84,248
全社費用(注)	△283,469
四半期連結損益計算書の営業利益	779,091

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。